佐賀地本ニュース

平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集

第9号　平成30年6月15日発行

発行所
自衛隊佐賀地方協力本部
募集課広報室
電話　0952-24-2291

現代の“防人”を目指して

佐賀地本は、5月12日（土）及び13日（日）に幹部候補生第1次試験、5月19日（土）に第1回自衛官候補生採用試験、5月26日（土）に第1回一般曹候補生第1次試験を行いました。

各試験種目は、「組織のリーダーとなる幹部自衛官を目指すコース」、「任期制自衛官として体力・気力を充実させ、任期終了後は民間企業に就職したり、継続任用も可能なコース」、「部隊の中核として現場のスペシャリストである曹を目指すコース」と、それぞれの道は異なりますが、「現代の防人」として自衛官を目指す多くの受験者が、厳正な試験の中、最後まで真剣な表情で試験に取り組んでいました。

佐賀地本は、日本の将来を担う自衛官を目指す志願者の熱意に応えられるよう、引き続き、募集業務に邁進して参ります。

試験実施要領の説明を受ける受験者（自衛官候補生採用試験）

受付を行う受験者（曹候補生第1次試験）

嬉野市において防衛に関する意識を高揚

佐賀地本は、5月17日（木）、嬉野市中央公民館において行われた平成30年度嬉野市防衛協会総会を支援しました。

総会は、嬉野市長を始め多くの方々及びご来賓の参加を得て、盛大に行われました。

記念講演では、講師として航空自衛隊西部航空方面隊司令官　井筒空将をお招きし、「我が国周辺の軍事情勢と航空自衛隊の活動」と題して、講演が行われました。

本講演においては、日本周辺空域における安全保障環境、航空自衛隊の任務・活動状況等についての説明があり、司令官の話に多くの方々が熱心に聞き入る姿が見られました。

佐賀地本は、地域の皆様方に防衛に関する意識を高めて頂けるよう、今後も各協力会が行う活動への協力に努めて参ります。

講話を行う井筒司令官

村上嬉野市長による来賓祝辞

災害派遣等の活動を紹介

佐賀地本長は、5月6日（日）、鳥栖市高田町公民館において、高田町自主防災会からの依頼により、自衛隊の災害派遣活動を主とした講話を行いました。

本講話においては、平成28年4月熊本地震における災害派遣活動や、「水の怖さ・恐ろしさ」を知って頂くために、平成27年9月関東・東北豪雨及び平成29年7月九州北部豪雨における被害状況等を紹介しました。

その後、災害派遣の法的枠組み、給食・給水、入浴支援活動において使用される装備品等について説明するとともに、災害によって、かけがえのない大切なものが失われることについて、講話しました。

参加者の中には、鳥栖市において過去に発生した水害による被害を思い出されている高齢者の方もおられました。

佐賀地本は、今後もあらゆる機会を通じて、自衛隊の活動に対する理解を深めて頂けるように努めて参ります。

九州北部豪雨における被害状況の紹介

高田町における浸水最高水位（2.5m）

国を護り続ける予備自衛官

佐賀地本は、5月18日（火）から5月22日（金）までの間、久留米駐屯地において、第4特科連隊（久留米）が担任する予備自衛官5日間招集訓練に参加する42名の予備自衛官の受け入れ等を支援しました。

参加した予備自衛官は、真剣な表情で各種訓練に取り組んでいました。

訓練参加者は、「予備自衛官であることに誇りを持ち、普段の仕事にも励みたいと思います。」と話し、すがすがしい表情で久留米駐屯地を後にしました。

また、今回の訓練において、佐賀地本所属の坂井期間業務隊員に、予備自衛官として訓練招集に永年精励した功績を称えて、西部方面総監からの顕彰状が授与されました。

佐賀地本は、今後も予備自衛官と訓練担当部隊との連携を大切にし、安心して出頭できる環境を保って参ります。

担当者から説明を受ける予備自衛官

顕彰状を授与された坂井期間業務隊員

ヘリコプターへの理解を深めて頂く

佐賀地本は、5月19日（土）、前川原駐屯地において、西部方面ヘリコプター隊の支援を受けて、多用途ヘリコプター「UH－60JA」による体験搭乗を行いました。

今回の体験搭乗には、県防災ヘリコプター導入に関係する方を始め、学校の先生方や募集業務へ協力を頂いている皆様方にご参加頂きました。

搭乗前に、ヘリコプターの有用性及び必要性を説明し、ヘリコプターに関する理解を深めて頂きました。

搭乗した方からは、「ヘリコプターが、自衛隊の活動に必要な装備であることがわかりました。」との感想を頂くとともに、駐屯地内の資料館を興味深そうに見学する姿が見られました。

佐賀地本は、今後も自衛隊の活動に対する理解を深めて頂けるように努めて参ります。

ヘリコプターに搭乗する参加者

ヘリコプターについての説明を受ける参加者

熱か風

募集への協力について（お願い）

この3月に佐賀地方協力本部募集課長として参りました小林です。

近年、社会の少子高学歴化、景気・雇用状況の好転等、入隊・入校者数の確保が厳しさを増す中にあって、平成27年度及び29年度に自衛官候補生の採用者数を自衛隊全体で確保できませんでした。

このため、改めて自衛官候補生の魅力について、その一部を紹介させて頂き、是非、自衛官候補生の募集広報にも協力して頂きたく、お話させて頂きます。

自衛官候補生は、陸2年、海空3年（2任期目以降は2年）の任期制隊員コースです。

任期間は、自衛官として体力・気力を充実させ、必要な資格を取得することができ、任期満了後は、希望する業種へ再就職したり、選抜試験に合格することで、曹となり、引き続き、自衛官として勤務することもできます。

再就職の際には、就職サポートもしっかりと行っており、再就職先の企業様からは、「規則正しく訓練されている自衛隊出身者であれば、安心して仕事をまかせることができ、是非雇用したい。」との評価を頂いております。

希望や夢の実現と、地域のため、家族のために貢献できる自衛官候補生に興味をお持ちの方は、是非、地本の窓口まで、お問い合わせ下さい！お待ちしております！

募集課長
2等陸佐　小林郁扶

唐津 「韋駄天」広報官の紹介

唐津出張所の先任広報官である樋口曹長の特技を紹介します。

樋口曹長は、走ることに関して、高校時代には、京都で行われている全国高校駅伝に長崎県代表選手として参加したことがあるほどの実力の持ち主です。

今年1月8日（月）に行われた「伊万里ハーフマラソン2018」においても「40歳以上3km」の種目に参加し、9分34秒という好記録により、参加者40名の中から、見事に優勝しました。

来年の県内一周駅伝に、唐津・玄海地区代表として参加することができれば、唐津出張所からも募集の幟（のぼり）を持って、現地において熱い声援を送りたいと考えています。

唐津出張所の広報官の意外な一面を今後も紹介して参りますので、ご期待下さい。

沖縄での勤務時に九州一周駅伝に参加した樋口曹長（写真右）

広報官として募集業務を行う樋口曹長（写真右）

武雄 新たな道を歩む入隊者を応援

武雄地域事務所は、4月6日（金）、空自防府南基地において行われた入隊式に同行しました。

式は、防府市長をはじめ多くの方々及びご来賓の参加を得て、厳粛に執り行われました。

式が始まると、真新しい制服に身を包んだ候補生達は、気迫の込もった節度ある敬礼動作を行い、後ろの席から見守っていた家族の方々や我々広報官を驚かせました。

教育隊長からは、熱い激励の言葉をかけられ、式終了後には、今後の教育をやり遂げる自信に満ち溢れた候補生の姿を見ることができました。

参加されたご家族からは、「短期間での子供の成長に驚きました。」等の言葉を頂き、広報官として初めて同行した入隊式において、改めて、広報官のやりがいや喜びを感じました。

武雄地域事務所は、自衛官への新たな道を歩み始めた候補生とご家族を全力で応援して参ります。

厳粛に執り行われた入隊式

自信に満ち溢れた候補生（写真前列右は深見候補生（武雄所から入隊））

鳥栖 地元出身隊員が自衛隊をPR

鳥栖地域事務所は、5月1日（火）、本年3月に入隊した隊員の鳥栖工業高校への学校訪問に同行しました。

陸自2名、海自1名、空自2名の隊員が、初めに進路指導室を訪問し、先生に挨拶を行うと、「わずか1ヶ月で、見違えるほどに立派な姿になった。」とのうれしい感想を頂きました。

その後、教室において、在校生との面談の時間を設けて頂き、教育隊での生活や訓練について、後輩の生徒たちに発表しました。

話を聞いた生徒たちからは、「自衛隊に興味を持ちました。」、「進路の一つとして、説明を聞いてみたい。」との感想を頂くことができ、これからの募集広報への手ごたえを感じました。

鳥栖地域事務所は、今後も各種広報活動を通じて自衛官の魅力を発信して参ります。

進路指導教諭との懇談

教室において在校生と面談する隊員

佐賀 地元出身隊員が自衛隊をPR

佐賀募集案内所は、5月1日（火）及び2日（水）、本年3月に入隊した隊員の母校への訪問に同行しました。

隊員の出身高校である高志館高等学校、佐賀学園高等学校、北陵高等学校、龍谷高等学校、多久高等学校をそれぞれ訪問し、校長先生や担任だった先生方、後輩の生徒たちと久しぶりに再会し、思い出話や自衛隊の話で、盛り上がりました。

校長先生との懇談においては、やや緊張した面持ちではありましたが、凛々しく受け答えをしている姿に自衛官としての成長を感じて頂けたことと思います。

佐賀募集案内所は、今後も各種広報活動を通じて自衛官の魅力を発信するとともに、素晴らしい佐賀県出身の隊員の募集に尽力して参ります。

北陵高校で校長先生と懇談する隊員（陸自5名、海自1名、空自1名）

多久高校で在校生と面談する田中候補生（海自）

採　用　案　内

募集種目		応募資格（学歴・年齢）	受付期間	試験日
自衛官候補生		18歳以上 27歳未満の者	年間を通じて 行っております。	受付時にお知らせします。
			※女子については、お問い合わせ下さい。	
一般曹候補生		18歳以上27歳未満の者	7月1日 ～9月7日	1次試験：　9月21日～23日 2次試験：　10月12日～17日 ※いずれか1日が指定されます。
予備自衛官補（一般）		18歳以上34歳未満の者	7月1日 ～9月14日	9月29日～10月2日 ※いずれか1日を指定されます。
防衛大学校学生	推薦	18歳以上21歳未満の者 高卒（見込含）又は高専3年次修了（見込含）で成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者	9月5日 ～9月7日	9月22・23日
	総合選抜	18歳以上21歳未満の者 （自衛官は23歳未満） 高卒者（見込含）又は高専3年次修了者（見込含）		1次試験：9月22日 2次試験：10月27・28日
	一般		9月5日 ～9月28日	1次試験：11月3・4日 2次試験：12月11～15日
防衛医科大学校医学科学生		18歳以上21歳未満の者 高卒者（見込含）又は高専3年次修了者（見込含）	9月5日 ～9月28日	1次試験：10月27・28日 2次試験：12月12～14日
防衛医科大学校看護学科学生 （自衛官候補看護学生）		18歳以上21歳未満の者 高卒者（見込含）又は高専3年次修了者（見込含）	9月5日 ～9月28日	1次試験：10月20日 2次試験：12月1・2日
陸上自衛隊 高等工科学校生徒	推薦	男子で中卒（見込含） 17最未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者	11月1日 ～11月30日	31年1月5日～7日 ※いずれか1日を指定されます。
	一般	男子で中卒（見込含） 17歳未満の者	11月1日 ～31年1月7日	1次試験：31年1月19日 2次試験：31年2月1日～4日

平和を守り、未来を創る

陸・海・空自衛官候補生募集

入隊と同時に「自衛官候補生」に任命され、3か月後に2等陸・海・空士（任期制自衛官）に任用されます。
■2等陸・海・空士任用後は、陸上自衛隊は1年9か月、 海上・航空自衛隊は2年9か月の任期制コースとなります。

自衛隊はあなたの能力を必ず活かせる場所

第6師団司令部付隊 管理小隊 1等陸士
照井 真美

母子家庭で、母の苦労を見て育ったため「大切な人を守れる強い人間になりたい」と強く思うようになりました。責任力や精神力も身につく自衛隊が適職だと思い入隊しました。現在私は所属している管理小隊で衣・食・住の支援や管理を行い、隊員の任務のサポートも行っています。自衛隊の職種は多岐にわたるため、あなたが輝く職種が必ずあります。国や国民のためにできることをしたい人は是非自衛隊へ来てください。

さまざまな国家資格取得のチャンスがある

中部航空警戒管制団 中部防空管制群 警戒通信隊 1等空士
水上 滉太

自衛隊が災害派遣で活躍する姿をテレビや新聞で見て、「自分も人のためになる仕事がしたい」と思い入隊を決意しました。任期制自衛官は任期に応じて任期満了退職金を受け取れます。さらに、さまざまな国家資格を取る機会があるのも魅力です。現在は、電波や通信のやり取りを通して日本の領空を守るのが主な任務です。常に「自分たちがいなければ日本の空は守れない」という責任感を持って取り組んでいます。

一番のやりがいはみんなが喜んでくれること

館山航空基地隊 厚生隊 給養班 海士長
川田 愛

私は進路に悩んでいた頃、自衛隊の説明会に参加したのがきっかけで入隊しました。任期制の魅力は、新たな進路を目指すなど、さまざまな選択が可能な所だと思います。現在は給養班に所属し、隊員の生命の源である食事を作っています。喜びを感じるのは、食べた人からおいしいと言ってもらえる瞬間。おいしい物を食べると不思議と笑顔になりますが、そんな笑顔であふれる食堂を目指して頑張っています。

詳細につきましては、ホームページをご覧になるか、最寄りの地域事務所等へお問い合わせ下さい。

事務所等	住　所	電話番号
本　部	〒840−0047 佐賀市与賀町2−18	0952−24−2291
唐津出張所	〒847−0085 唐津市和多田本村1−7	0955−72−8697
武雄地域事務所	〒843−0023 武雄市武雄町大字昭和43−15	0954−23−8304
鳥栖地域事務所	〒841−0037 鳥栖市本町1−962−1	0942−83−4077
佐賀募集案内所	〒840−0801 佐賀市駅前中央1丁目13−40	0952−31−5002